

◆趣 旨

今年度4月から地方分権推進一括法と介護保険制度がスタートしました。しかしながら21世紀に向けた分権型社会の構築には、地方自主財源の確保などまだまだ幾多の困難が待ち受けています。

そこで、各地域で活躍されている政治家および政治家を目指す人たちや趣旨に賛同する関係者とで研鑽を深め、住民主体の地方自治の発展と相互のネットワーク化を図るために開催いたします。

◆プログラム（第5回清溪セミナー）

	時間	内容及び講師（敬称略）
11月20日（月）	13:00	受付
	13:45	開会式
	14:30	講座1 「地域経済の自立」 講師：紺谷典子（日本証券経済研究所主任研究員） 資産市場が経済に与える影響、金融・証券行政と市場の問題点を指摘、日本経済活性化のためにいかなる経済システムが必要かなどを研究。
	16:15	講座2 「財政の分権」 講師：大西秀人（島根県総務部長） 1959年香川県生まれ。自治省選挙課に配属後、北九州市資金課長、国土庁農村整備課長補佐、岐阜県財政課長、北海道地域振興室長、自治省企画課税務企画官を経て平成12年4月より現職。
17:45	休憩	
18:00	歓迎レセプション	
11月21日（火）	7:00	朝食
	8:00	特別講演 北川正恭（三重県知事） 1944年三重県生まれ。サラリーマン生活の後、1972年より三重県議会議員、1983年より衆議院議員、1995年より現職。「生活者起点の県政」を目標に掲げ、行政システム改革を強力に推進している。
	9:00	講座3 パネルフォーラム 「自治体での経済自立をどう図るか」 コーディネーター：福岡政行（白鷗大学教授） 1945年生まれ。現実感覚にあふれた政治評論は定評。清溪セミナー常任講師。 パネリスト：北川正恭（三重県知事） 清水聖義（群馬県太田市市長） 昭和16年生まれ。平成7年、総工費300億円の21階建て新庁舎の建設見直しを訴え、太田市市長に就任。総工費を150億円（12階）に抑さえ込むなど市民サービスの追求と相乗効果による施策への付加価値化など、その動向に注目が注がれている。著書に「前例への挑戦-自治体はサービス創造企業-」（学陽書房） 逢坂誠二（北海道ニセコ町長） 1959年北海道ニセコ町生まれ。1994年ニセコ町役場総務課財政係長を退職後、同年8月35歳で町長に就任、現在に至る。情報共有を軸として、住民とともに考え、行動するまちづくりに挑戦している。
	11:00	昼食
	12:00	講座4 分科会討議 ①市町村合併②地方交付税③介護保険 ④自主財源などの分科会を予定
	16:00	講座5 「政治家と選挙」 講師：福岡政行（白鷗大学教授）
	18:00	夕食
19:00	テーマ別交流会（自由参加） ①インターネットを活用した政治活動 ②公共事業と自然保護 ③都市と農村など参加者からの提案を取り上げて数グループを構成する	
11月22日（水）	8:00	朝食会（与野党政策責任者との懇談を予定）
	10:00	閉会式

※日程及び講師については政局等により変更することがあります。

◆清溪セミナー実行委員会

委員長	阿部 新咲	（大分県国東町議会議員）
委員長代行	天野 仁	（和歌山県南部町議会議員）
委員	井伊 敏郎	（愛媛県三瓶町長）
	福田 悦治	（大阪府岸和田市議会議員）
	海東 英和	（滋賀県新旭町長）
	喜藤 興一	（宮城県古川市）
	坂本 純治	（茨城県大洗町議会議員）
	篠藤 明德	（別府大学文学部教授）
	下川床 泉	（鹿児島県指宿市議会議員）
	瀬田川 栄一	（秋田県秋田市議会議員）
	高橋 秀和	（岐阜県糸貫町議会議員）
	中 秀一	（北海道端野町議会議員）
	中村 與弘	（長崎県波佐見町）
	野崎 長和	（石川県七尾市議会議員）
	藤田 彰裕	（島根県八雲村）
	松井 秀明	（群馬県新治村議会議員）
	宮本 光明	（富山県八尾町議会議員）
	森高 康行	（愛媛県議会議員）
	吉田 勉	（東京都町田市議会議員）

◆事務局

〒160-0013

東京都新宿区霞岳町15番地 日本青年館内

清溪セミナー事務局

TEL 03-3475-2560

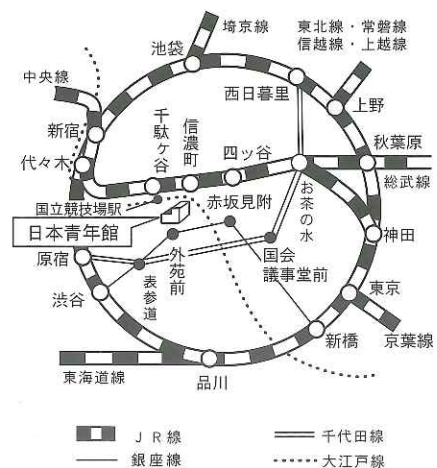
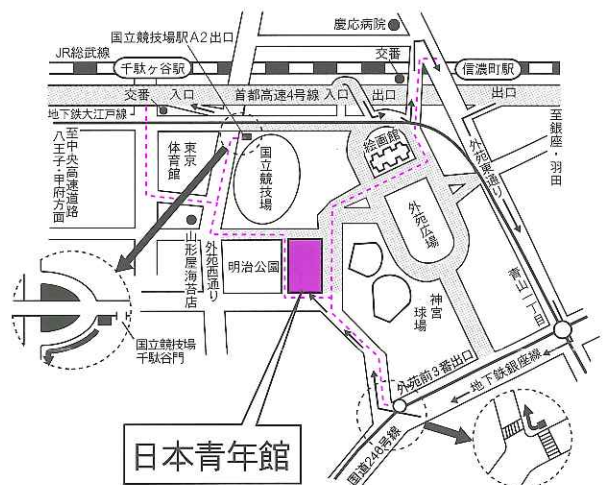
FAX 03-3475-6605

（担当：江口）

http://www.nippon-seinenkan.or.jp

E-mail: eihon@nippon-seinenkan.or.jp

◆日本青年館への交通案内



■ JR線
— 千代田線
— 銀座線
- - - 大江戸線